

# 指 定 管 理 者 評 価 表

施 設 名	児童発達支援事業所なるみ園					
指 定 管 理 者	社会福祉法人山陽小野田市社会福祉事業団					
指 定 期 間	自	H28.4.1	至	R3.3.31	指 定 期 間	5.0 年
評 価 対 象 年 度	令和 2 年度			施 設 所 管 課	子育て支援課	
指 定 管 理 料	9,137,089円		税込	評 価 年 月 日	R3.6.7	
利 用 料 金 制 度	なし			ア ン ケ ー ト	実施	
選 定 方 法	公募			単 独 指 定 回 数		

## I サービス履行の確認

項 目		1次	2次	コメント欄
管 理 運 営 の 状 況	開館日数及び開館時間は適切か	3	3	事業計画通りの日数。244日(8:30~17:15)
	保守管理業務は適切に行われたか	3	3	消防設備は業者委託。車両関係は点検・車検を計画的に受ける。
	清掃業務は適切に行われたか	3	3	職員による清掃を徹底している。
	保安警備業務は適切に行われたか	3	3	夜間・休日は機械警備を実施。非常通報装置を設置している。
	外構や植栽等の管理は適切に行われたか	3	3	職員による剪定・除草・清掃など適宜実施している。
	事故、苦情及び緊急時の対応は適切であったか	3	3	交通事故1件、適切に対応した。苦情の事案はなし。
	事故、苦情及び緊急時の市への連絡は適切であったか	3	3	上記同様。適切に連絡した。
	個人情報の管理は適切か	3	3	規程を設けて管理している。特定個人情報についても同様。
	現金の管理は適切か	3	3	弁当はその都度集金、おやつ代は、月末締めで20日に集金し、すぐに業者に支払っている。
	減免申請に対する取扱いは適正か	—	—	減免申請の取扱いはない。
	修繕は適切に行われたか	2	2	維持管理に努めた。一部、市に要望中。(屋根台風災害復旧工事等)
	各種報告書等は遅滞なく提出されたか	3	3	毎月の事業報告等を遅滞なく提出した。
人 員 配 置 等	人員配置は適切か	3	3	別①に詳細を記入してください
	必要な有資格者は適切に配置されているか	3	3	保育士、児童指導員などの有資格者を配置。
	労働条件は適切か	3	3	法律に従い、適切に実施している。
	職員の資質向上を図る取組(職員研修)は適切に行われたか	3	3	計画的に必要な施設外研修、内部研修を実施している。

## II サービスの質の評価

項 目		1次	2次	コメント欄
事 業 実 施	事業計画どおりに事業が実施されたか	3	3	コロナ禍、行事には影響が見られたが、ほぼ予定通りに実施。
	講座やイベントは満足できる内容であったか	2	2	コロナ禍、中止や延期、縮小して実施。
	施設の設置目的に沿った自主事業を行ったか	3	3	市の乳幼児関連事業や療育相談等を実施。
サ ー ビ ス 向 上	アンケート等により利用者ニーズの把握に努めているか	3	3	保護者等からの事業所評価及び自己評価等を実施。
	利用者の苦情・要望を反映させる取組を行っているか	3	3	玄関に苦情受付箱を設置。連絡帳にて情報を共有している。
	接客態度は良いか	3	3	適切な接遇マナーに努めている。
	特定の利用者を有利又は不利に扱っていないか	3	3	公平な対応に心掛けている。
	HP等による広報活動は効果的に行われたか	3	3	法人HPを開設し、行事や活動等の更新を随時行っている。
	利用者の満足度は高いか	3	3	アンケート結果より、満足度は高い。
	利用者サービスの向上を図る取組は行われたか	3	3	アンケート、自己評価結果より、サービスの改善に努めている。
利 用 状 況	利用状況はどうか(前年及び計画との比較)			別②に詳細を記入してください
	利用者増加のための取組をしたか	3	3	保育園・幼稚園・関係機関との連携に努めている。

## III サービスの安定性の評価

項 目		1次	2次	コメント欄
収 支 状 況	収入の状況はどうか(前年及び計画との比較)			別③に詳細を記入してください
	支出の状況はどうか(前年及び計画との比較)			
	収支の状況はどうか(支出超過になっていないか)			
	収入増加の取組は行われたか	3	3	R2年度に定員を10人に変更した上で、国のガイドライン一杯の利用率を目指した。(125%)
	経費節減の取組は行われたか	3	3	義務的経費以外は経費節減に努めている。

**施設所管課で記入してください**

**別① 人員配置について**

前年度	園長・副園長・保育士（3名）・児童指導員（2名）・理学療法士兼言語聴覚士（非常勤1名）の8人体制
計画	園長・副園長・保育士（3名）・児童指導員（2名）・理学療法士兼言語聴覚士（非常勤1名）の8人体制
実績	園長・副園長・保育士（3名）・児童指導員（2名）・理学療法士兼言語聴覚士（非常勤1名）の8人体制

**別② 利用状況について**

内 訳	H30 実績	R1 実績	R2 計画	R2 実績	対前年比
児童利用者数	22	22	18	18	▲ 18.2%
合 計	22	22	18	18	

評価
----

利用評価
2

備考	平成30年～令和1年（定員20名） 令和2年（定員10名）
----	----------------------------------

**別③ 収入状況について**

内 訳	H30 実績	R1 実績	R2 計画	R2 実績	対前年比
障害児通所給付費収入	26,623,696	24,767,182	36,993,000	37,141,430	50.0%
利用者負担金収入	879,854	524,538	100,000	99,040	▲ 81.1%
補助金事業収入（公費）			780,000	780,000	
受託事業収入（公費）	8,970,960	9,054,026	9,137,000	9,137,089	0.9%
その他の収入（雑収入）	8,000		150,000	147,500	
合 計	36,482,510	34,345,746	47,160,000	47,305,059	

評価
----

収入評価
3

備考	令和2年利用者負担金収入（3歳以上は無料化） 令和2年補助金事業収入（コロナウイルス感染症緊急包括支援事業費補助金）
----	---

**別③ 支出状況について**

内 訳	H30 実績	R1 実績	R2 計画	R2 実績	対前年比
人件費	29,512,861	27,405,203	34,500,000	32,233,715	17.6%
事業費	2,230,945	1,945,211	2,670,000	2,597,837	33.6%
事務費	1,822,819	2,042,506	1,600,000	1,501,836	▲ 26.5%
その他の活動支出	1,839,375	2,135,382	2,850,000	2,845,624	33.3%
合 計	35,406,000	33,528,302	41,620,000	39,179,012	

評価
----

支出評価
2

備考	
----	--

収支評価
4

総合評価
95 /100

**評価基準**

基準	点数
該当なし	—
事業計画を大きく下回っている 期待する水準を大きく下回っている 達成度イメージ 60%未満	0
一部分を除き事業計画どおりである 一部分を除き期待する水準どおりである 達成度イメージ 60%～79%	1
ほぼ事業計画どおりである ほぼ期待する水準どおりである 達成度イメージ 80%～99%	2
事業計画どおりである 期待する水準どおりである 達成度イメージ 100%	3

**利用状況及び収入状況**

基準	点数
該当なし	—
前年度実績 $\geq$ 実績 かつ 計画 $>$ 実績	0
前年度実績 $<$ 実績	1
計画 $\leq$ 実績	2
前年度実績 $<$ 実績 かつ 計画 $\leq$ 実績	3

**支出状況**

基準	点数
該当なし	—
前年度実績 $\leq$ 実績 かつ 計画 $<$ 実績	0
前年度実績 $>$ 実績	1
計画 $\geq$ 実績	2
前年度実績 $>$ 実績 かつ 計画 $\geq$ 実績	3

**収支状況**

利益率 = 収入実績  $\div$  支出実績

利益率	点数
0.6未満	0
0.6～0.7未満	1
0.7～0.9未満	2
0.9～1.0未満	3
1.0以上	4